



中学入学時に 本市独自で経済的支援を

高松 幸雄 議員

支援を行うことは考えていない

教育部長



▲下校中の子どもたち

問 令和6年4月から新しく愛西市立中学校6校全ての新入生、在校生を対象に、従来の詰め襟学生服とセーラー服に加え、新たなブレザースタイルの制服を選択できるようにしたが、保護者の負担が懸念される。保護者の負担の影響は。

答 詰め襟・セーラー服の購入費は価格帯が広く、4年度の調査結果では学生服の上下セットで2万5千円から6万1千

円程度、セーラー服上下セットで3万2千円から4万9千円程度だ。一方、ブレザータイプの制服の購入費は4万2千円程度であり、詰め襟・セーラー服の購入費の平均額と差はないため、負担額が増額しているとは考えていない。

問 中学入学時に本市独自で経済的支援を検討する考えはないか。

答 入学時に準備してもらうものには、各学校で必要性を考慮し、不要なものは省くなど保護者の負担軽減を図っている。経済的な理由により生徒を中学校へ就学させるのに困っている保護者には、新入学用品費を上限で6万3千円支給する就学援助事業を行っている。現時点で制服や自転車の購入に係る支援を行うことは考えていない。

ている。課題は人員の確保と高齢化だ。

問 市江兒童館までの移動時の見守りはどうなっているのか。

答 約2km離れた市江兒童館では、放課後兒童クラブの職員が国道155号の歩道橋まで出向いて兒童館まで引率している。

子どもを守る 対策を

問 今年の夏は記録的な暑さが続いており、熱中症の症状が出た児童もいると聞いている。本市として、登下校時の熱中症対策についてどのように考えているのか。

答 小学校ではリュック等での通学を認め、日傘や冷却グッズ等の使用も可能としている。下校前には健康観察を行い、水分補給を呼びかけている。

問 スクールガードは、見守り隊や安全サポーターなど呼び方は様々で、児童に付き添って見守る無償のボランティアである。現在の地域での活動状況と課題は。

答 登下校の時間帯に、通学団の集合場所から学校まで付き添ってもらっ